

熊本哲也教授のご退職に寄せて

高等教育推進センター長職務代理 猪股 俊光

岩手県立大学高等教育推進センター国際教育研究部所属の熊本哲也教授は、今年度末をもって定年退職されることとなりました。熊本先生は、1998年岩手県立大学開学時に社会福祉学部講師として就任されて以来、本学の共通教育および基盤教育の充実・発展、さらには、国際教育研究部長として高等教育推進センターの運営にご尽力されてきました。この長年にわたるご功績に対して心より感謝と敬意を表す次第です。

熊本先生は、東北大学文学部フランス文学科をご卒業後、東北大学大学院文学研究科フランス語フランス文学専攻博士課程後期を単位取得満期退学された後、本学に赴任されました。社会福祉学部助教授、共通教育センター准教授、高等教育推進センター准教授を経て、2022年より同センター教授に昇任されました。本センターの国際教育研究部の教員としてフランス語教育を中心として、副専攻「国際教養教育プログラム」のなかのグローバル理解科目や演習科目で活躍されております。最近では、グローバル教育の一環としてヨーロッパ海外研修を実施するための研修内容や環境整備のために、アルザス欧州日本学研究所（略称：CEEJA）との交流に尽力されました。岩手県は10数年まえからCEEJAと交流を続けており、熊本先生は、本学が「CEEJAと連携する日欧大学及び研究機関の会への入会」を果たす際の立役者でもあります。今後は、本学の学生・教員の交流の場の一つとして期待されます。

本学の運営においては、本センターの国際教育研究部長として、部局の中期計画や予算の取りまとめといった運営に加え、副専攻「国際教養教育プログラム」の運営においても多大な貢献をされております。

学外においては、日本フランス語フランス文学会に所属され、学会誌編集委員や東北支部支部長などを歴任されております。ご専門のフランス思想・文学に関する研究論文、フランス語教育のための教科書、学術書の翻訳など、業績は多岐にわたります。

このように本学にとって、貴重な人材である熊本先生がご定年を迎え退職されることは、本学にとっては大変残念なことであります。これまで25年にわたる熊本先生のご功績に深い敬意と感謝を申し上げるとともに、今後のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げて贈る言葉とさせていただきます。熊本先生、長きにわたり本当にありがとうございました。